

様式1

## 地域経営推進費 事業評価結果一覧表（令和3年度）

名称		金額		事業コード			評価結果	
No.	事業名	事業主体	事業費 (円)	推進費 (円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
1	カシオペア地域づくり活性化推進事業	経営企画部	2,480,000	2,480,000	1 県・委託	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	カシオペア連邦情報発信事業について、次年度も続けていくとともに、番組内容について検討していく。 カシオペア若者カーリング振興事業について、新型コロナウイルスの影響により、ジュニアカーリングスクールの回数が少なかったが、参加者数は例年よりも多くの方が参加していただいた。次年度も、カーリングの地元定着を図りながらカーリング団体への支援を行っていく。
2	カシオペア連邦建国30周年記念事業	経営企画部	418,521	418,421	3 県・負担金	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、当初予定していた30周年記念式典は中止することとなったが、代替事業を実施することで、カシオペア連邦の30周年にわたる地域づくり活動や地域振興の取組の成果を振り返るとともに、今後の活動の契機とすることができた。
3	北いわて・子ども文化スポーツ体験ひろば	経営企画部	797,881	797,881	1 県・委託	14 国体・障害者スポーツ大会	1 ソフト	新型コロナ禍において、感染拡大防止対策を講じ、実施可能な時期に予定した事業を実施できた。
4	八戸圏域との文化スポーツ交流・連携推進事業	経営企画部	171,898	171,898	4 県・上記以外	14 国体・障害者スポーツ大会	1 ソフト	新型コロナの影響により、(1)は実施を見送り、(2)は予定を一度中止の後、時期を改めて実施することができた。
5	県北妊産婦安心出産支援事業	管内市町村	3,439,758	1,719,878	2 県・補助	7 地域医療・健康づくり	1 ソフト	人口減少が著しい県北地域において、経済的に、また安心して出産できる環境の一環として、本事業を推進してきたが、関係市町村からの継続要望も強く、令和4年度から「北いわて妊産婦安心安全出産支援事業」として、一部内容を変更のうえ実施することとしたもの。
6	障がい者アート推進事業	保健福祉環境部	67,318	79,018	4 県・上記以外	8 子育て・福祉	1 ソフト	久慈地域では、障がい者アートの作品を目にしたたり、専門家の指導を受ける機会は多くないが、平成29年度から本事業に取り組み、毎年度、参加作品数が増加するなど、関心は高まりつつあり、一定の成果は上げていると思われる。 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で一部事業の中止や規模縮小などを余儀なくされたが、次年度以降もこの状況が続くことを視野に入れた形での実施（zoom開催など）も検討していきたい。
7	久慈・二戸地域「道の日ウォーキング」事業	土木部	248,170	248,170	1 県・委託	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	イベントのリピーターが多くなっていることから来年度以降も引き続き道の日イベントを継続し開催することを検討していきたい。
8	持続可能な社会の創り手育成事業	保健福祉環境部	167,028	167,028	4 県・上記以外	10 環境	1 ソフト	新型コロナウイルス感染症感染拡大により事業実施が危ぶまれたが、実施者が感染防止対策を講じながら実施することが出来た。
9	県北地域における動物愛護思想普及啓発事業	保健福祉環境部	133,654	204,403	4 県・上記以外	10 環境	1 ソフト	人を集めて行う事業については新型コロナウイルス感染症の影響により実施できないものもあるが、動向を踏まえながら実施したい。
10	北いわて再エネ広域連携推進事業	経営企画部	725,460	725,460	4 県・上記以外	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	将来的な首都圏への再エネ供給を見込み、北いわての再エネの取組や特産品について認知度向上を図ることができた。 主に国の新たな施策（脱炭素先行地域）について、県・市町村間でその検討を行った。回によっては国を招き市町村の申請にあたっての参考とすることができたほか、北いわて9市町村が一堂に会して協議する場を設けたことで、市町村間の意思疎通や今後の取組を検討する新たな場とすることができた。

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

11	農業担い手チャレンジ支援事業	久慈地方農業農村活性化推進協議会/ 二戸地方農林水産振興協議会	717,481	717,481	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	事業実施によって、モデル経営体の経営拡大や高度化につながっており、特に施設園芸にICT技術を導入することへの不安感が払拭されたことから、関係機関・団体による管内農業者への取組内容の波及が期待できる。 今後も、関係機関・団体が連携し、地域における農業の担い手確保・育成に向けた取組を継続的に進めていく。
12	魅力ある農業農村づくり活動支援事業	地域の活性化に取り組むグループ	450,000	179,515	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	地域ビジョンを作成することはできなかったが、えごま栽培等の活動を通して集落ぐるみの取組の機会は増えたと考えられる。 次年度は、地域ビジョンの作成に向け、地域活性化に取り組んでいる集落や団体を対象に研修会を開催するとともに、引き続き、集落ぐるみの取組に対して補助を行う。
13	アスパラガス半促成栽培実証事業	農政部	178,542	178,542	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	当地域では4月下旬から5月にかけての時期に定植することが可能であることが分かったが、降霜時期については年次変動があるため、温度管理等について検討が引き続き必要である。 夏期の生育量を確保するため、土壌水分計の設置や、自動かん水装置の導入を検討し、十分なかん水を行うことが必要であることが分かった。
14	ほうれんそう夏期収量アップチャレンジ事業	農政部	868,806	868,806	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	・2作型×2圃場で取り組み、生育促進などの影響が認められたものの、ミストの稼働条件の設定や大雨の影響等により、収量への影響は判然としなかった。 ・実証農家は、圃場内の生育の揃いが向上した効果を実感しており、次年度に期待している。
15	短角牛肥育経営新規就農モデル実証事業	農政部	384,117	384,117	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	今回、肥育牛の発育の面だけでなく肉質・食味評価の面においても、混合飼料を主体とした肥育体系が実用可能であることが実証できたことで、新規就農のような生産基盤を保有しない状況下でも日本短角種の繁殖肥育一貫経営が可能であることがわかった。実証を担当した経営体は飼養頭数を計画的に増やし経営を定着するに至っている。また、短角の一貫経営での新規就農希望も寄せられており、今回の実証結果を活用して就農を支援していく。
16	フードダイバーシティ支援事業	農政部	448,554	488,554	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	令和3年9月には、二戸地域における「フードダイバーシティ」の推進母体となる「二戸フードダイバーシティ推進協議会」(事務局:株式会社南部美人)が設立され、民間事業者主体の取組に移行しつつある。また、飲食店のメニュー開発やベジタリアンサイトへの登録が進みつつあり、本取組が浸透してきていることから、引き続き、ヴィーガン等に対応したメニューの改良やPR、先進事例の調査や情報共有等に対する支援を行い、さらなる取組促進を図っていく。
17	農林水産業経営力向上支援「カイゼン塾」事業	農政部	819,000	716,138	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	新型コロナウイルスの影響により、日程の変更や、開催方法の変更もあったものの、一般的な「カイゼン」の視点・考え方の他、参加者が抱える経営課題に即したディスカッション、講師によるアドバイスは非常に好評であり、ぜひ次年度も継続して参加したいという経営体があった。 カイゼン塾には支援機関の担当者も参加しており、経営効率化に取り組む経営体への支援体制の充実が期待される。

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

18	御所野遺跡等をテーマにした産直の商品開発等支援事業	農政部	304,675	304,675	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	新型コロナウイルスの影響により事業内容を限定して実施することとなったが、個別の課題解決を支援した。商品開発の支援は令和4年度実施する。
19	日本一の「甘茶」生産量拡大大作戦！展開事業	農政部	160,427	160,427	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	令和3年度から引き続き、単収向上に向け、作業体系のマニュアル化を図るため、収量・品質に優れた事例を調査し、栽培マニュアルを発行した。規模拡大に向けては、実証ほの運営を令和3年度から引き続き行い、育苗の短期化を図ることができた。また、実証結果から、生産者に有効的な省力化技術の導入を推進した。
20	「林業・木材産業」新規就業者確保支援事業	久慈地方「木の仕事」協議会	504,990	326,000	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	今後も林業・木材産業への就業支援を継続して支援していく必要がある。
21	アカマツ販売チャンネルの新規開拓促進事業	林務部	220,000	220,000	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	引き続き、様々な機会を通じて地域材のPRに努め、地域材の利用促進を図っていく必要がある。
22	久慈地方原木乾しいたけ振興総合対策事業	林務部	477,258	477,258	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	久慈地方産原木乾しいたけのPRは、フェアの開催を通じて地域では一定の効果を上げることができたと考えられる。一方で、実態把握調査の実施により岩手県産・久慈地方産の原木乾しいたけの実需者における認知度がまだまだ低いことが明らかとなり、継続的なPR活動の重要性を認識することができた。今後は、久慈地方産原木乾しいたけの認知度向上を図るとともに、生産者の所得向上につながるよう高付加価値化の取組を推進していきたい。
23	北いわて木炭販路拡大促進事業	北いわて木炭産業振興協議会	214,980	214,980	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	今回の取組によって、若手を含めた生産者の意識改革となり、販路開拓の方向性について共通認識を持つことができた。来年度以降も、岩手木炭の販路拡大、高付加価値化を図っていく必要がある。
24	林業イノベーションによる経営力向上支援事業	林業事業者	760,000	401,030	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	トヨタ自動車㈱からの指導を受ける中で、社員自ら現場カイゼンの行動を起こすようとなり、働きやすい環境改善が進んだ。
25	浄法寺漆資源維持造成対策事業	林務部	880,411	880,411	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	今年度育成された漆実生苗木が出荷されることで、従来を大きく超える新たな漆植林の面積が増える見込みとなり、漆資源の増大に繋がる。また、保育管理の技術を新たな担い手に普及することで、現在の漆資源の維持に繋がる。次年度も継続して漆資源の継続的な拡大に繋げたい。
26	鳥越竹細工用スズタケ資源確保支援事業	林務部	465,300	465,300	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	令和3年度の調査箇所から移植を行い、次年度にスズタケ資源増殖方法の検証を行う。
27	久慈地域水産物戦略的販売事業	久慈地域「海の幸」PR協議会	230,406	230,406	2 県・補助	6 農林水産業	1 ソフト	久慈地域「海の幸」PR協議会ホームページの令和3年度の閲覧数63件に対し、ブログの閲覧数は2,627件であり、久慈地域の水産物のPRに一定の効果があった。ブログ読者の増加に比例してPR効果も高くなることから、今後さらにブログの知名度を向上させていくことが必要である。そのため、久慈地域の他のSNS媒体と連携してブログの露出を増やして閲覧数を増やしていくほか、読者が求める情報を調査することで、よりブログの内容をより魅力あるものとする。

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

28	明日の浜の担い手育成事業	水産部	140,243	140,243	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	研修や体験学習は、参集型での実施が主であるため、新型コロナウイルス感染症の発生状況に鑑み開催方法、時期を検討し、感染予防対策を講じた上で実施していく必要がある。また、実技を必要としない座学等の学習会は、リモートでの開催で実施できるよう関係機関と調整する必要がある。
29	餌料対策連携高度化事業	水産部	195,052	195,052	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	垂下式と延縄式を比較すると、3月時点では垂下式の方がコンブの成長が良い結果となったが、今後も試験養殖を継続して生産量及びコストの比較を行う必要がある。 今後は、管内漁協連携による餌料海藻供給体制を構築するため、更なる餌料海藻生産の安定化・省力化技術の開発に取り組む。
30	漁港泊地高度利用事業	水産部	239,580	239,580	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	今後、漁港泊地においてナマコ増殖に取り組むにあたり、重要な知見を収集することができた。今回の知見をもとにナマコ増殖を推進する。
31	革新的増養殖プロジェクト事業	水産部	1,023,000	1,023,000	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	革新的増養殖市場等調査業務委託により、ギンザケやナマコに関する知見を得ることで現状や課題を把握できたほか、地域活性化に向けた提言を得たことから、提言をもとに関係機関と今後の方針や取組内容を具体的に検討していく。
32	サケ餌料環境調査事業	水産部	115,500	115,500	4 県・上記以外	6 農林水産業	1 ソフト	近年、海水温の上昇等海況の変化によりさけ稚魚の放流適期が短くなっているため、野田湾において餌料環境調査を行うことにより、適期に稚魚を放流することで稚魚の生残率が高まり、県北地区のさけ漁獲量の増加が期待されることから、今後も引き続き調査を実施していく。
33	北いわての食産業魅力づくり推進事業	経営企画部	2,145,991	2,145,991	1 県・委託	2 食産業	1 ソフト	新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント中止等はあったが、観光客数が多い安比高原での観光展示・物産販売やIGRと連携した飲食店での情報発信などに取り組むことで、地域食材や食文化のPRにつながった。また、魅力ある事業者成長促進支援事業の実施や各種支援制度の情報提供により、補助金等を利用した新事業の実施や売上向上を支援することができた。引き続き、事業者が抱える課題解決と地域食材の認知度向上に取り組んでいく。
34	マンガを活用した三陸沿岸道路沿線の飲食店PR事業	経営企画部	500,000	500,000	3 県・負担金	2 食産業	1 ソフト	テレビや新聞等のメディアで取り上げられるなど注目度が高く、多くのところから問い合わせが寄せられた。令和4年度は本庁経営支援課の補助金を活用し、新たなテーマでガイドブックを発行し、三陸沿岸道路の活用による地域活性を図っていく。
35	北いわてものづくり産業人材育成・連携促進事業	経営企画部	381,242	381,242	3 県・負担金	1 ものづくり産業	1 ソフト	県北ものづくり改善塾・改善塾フォローアップ事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見送った。 管内高校への教材費の支援は、高校生の技術力向上につながる取組となった。 管内企業の人材確保等に、効果的な取組となるよう企業ニーズの把握に努め、取組を実施することができた。

様式1

地域経営推進費 事業評価結果一覧表

36	北いわてアパレル産業人材育成支援事業	経営企画部	860,767	860,767	3 県・負担金	1 ものづくり産業	1 ソフト	学生デザインファッションショーのテレビ放送による開催や、JFW JAPAN CREATIONへの出展により、コロナ対策を講じつつ、北いわてアパレルの認知度向上に取り組むことができた。R4年度は学生デザインファッションショーの開催を支援するとともに、SNSを活用した県北地域のアパレル産業の情報発信等により、引き続き認知度向上に努める。
37	北いわて観光資源プランディング推進事業	経営企画部	225,521	225,521	1 県・委託	3 観光産業	1 ソフト	新型コロナウイルスの感染拡大により、計画していた取組を実施できないものもあったが、県北地域への継続的な観光流動の創出には観光コンテンツのブランディングは必要と考えるため、令和4年はよりベースを固めることを重視し、勉強会をメインにして引き続き取り組む。 三陸鉄道との連携に関しては、引き続き密に情報共有を図りながら、各種広報媒体で情報発信を行っていく。
38	カシオペア地域魅力発信事業	経営企画部	2,461,867	2,461,867	2 県・補助	3 観光産業	1 ソフト	イベント出展支援やのぼり・横断幕等を作成し、掲載することでカシオペア連邦をPRすることができた。また、ホームページを活用した情報発信や、九戸政実ガイドブックの増刷を行うことで、地域内外にPRすることができた。
39	地域ジョブカフェの就業支援サービス充実・強化事業	経営企画部	1,833,560	1,833,560	1 県・委託	5 雇用環境の整備	1 ソフト	地域の就業支援に関する相談窓口である地域ジョブカフェの就業支援サービスの充実を図るため、新規のイベント(大人のインターンシップ、成人式等の機会を活用した企業情報の発信)や継続事業(若年者の定着支援セミナー等)を実施し、地域の就業支援に資することができた。新型コロナウイルス感染症による管内のイベント開催が減ったことにより、周知機会の減少などの影響もあったが、当初の予定どおり実施することができた。
40	地域水産資源造成試験事業	水産部	1,494,377	1,494,377	1 県・委託	6 農林水産業	1 ソフト	放流効果を検証するには、放流稚魚が沿岸回帰し、漁獲されてからとなるため、現時点では評価が困難である。
合 計			28,351,335	25,842,497				



県北広域振興局

名称		金額		事業コード			評価結果	
No.	事業名	事業主体	事業費(円)	推進費(円)	事業性質	事業小区分	種別	事業実施主体による評価
1	久慈市受精卵活用移植促進事業	久慈市	1,000,000	666,000	5 市町村事業	6 農林水産業	1 ソフト	畜産酪農業の振興・乳用牛飼育農家の経営安定と営農継続を図る観点から、受精卵移植技術を用いた乳用牛の改良は重要な取組であり、継続的に支援していく必要がある。
2	広域道の駅設計モニタリング事業	久慈市	2,893,000	1,928,000	5 市町村事業	3 観光産業	1 ソフト	広域道の駅整備事業はDBO方式による事業であり、当市では初となる事業方式であったため、企業グループが作成する設計が性能発注である要求水準を満たしているかを確認するノウハウの積み上げが必要であった。 本アドバイザー業務により、要求水準に対する達成状況の確認及び業務の進捗管理に関する手法の獲得の他、各種協議での根拠の確認やプロポーザル事業での契約変更の手順のアドバイスなど、限られた人数で進めなければならない業務の円滑化が図られた。
3	防犯灯台帳システム化事業	久慈市	12,683,000	5,090,000	5 市町村事業	10 環境	1 ソフト	来年度以降、実施する市有防犯灯の全灯LED化に資する基礎資料となったほか、台帳システム化による事務効率化も図られた。
4	漁業就業者奨励金交付事業	洋野町	400,000	266,000	5 市町村事業	6 農林水産業	1 ソフト	漁業者の高齢化や担い手不足等が課題となっており、奨励金を交付することにより就業意欲の高揚と担い手確保が図られた。
5	首都圏での洋野町魅力発信事業	洋野町	2,583,170	1,666,000	5 市町村事業	3 観光産業	1 ソフト	新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が全国的に進み、感染状況が落ち着いてきたタイミングで、一部イベントを実施することができたが、当初予定していたイベントの実施・参加が未執行となった。 PRイベントについては、直接関わりを持つことで、一定の効果があり、タウンプロモーションは継続性が重要であるため、コロナ禍においても開催方法や開催時期を工夫するなどして、町の魅力発信や関係人口創出に繋げていきたい。
6	洋野町にぎわい創造交流施設空調設備整備事業	洋野町	30,213,700	9,690,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	2 ハード	施設は令和3年11月から宿泊以外の利用を開始しており、貸事務所への企業入居のほかコワーキングスペースや会議室などの利用が進んでいる。 事業において各部屋に空調設備の設置ができたことで、施設の快適性が向上し、夏場等の施設利用や利用者の増加が期待できるほか、令和4年4月からスタートする宿泊受入れに関しても、冷暖房完備であることを対外的にPRすることが可能となった。
7	地方創生人材育成事業	野田村	462,000	308,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	・野田村でのアクションに移行したビーチクリーニングは、来年度の村事業(十府ヶ浦海岸活用促進事業)の一部に組み込み、スタートすることとした。海岸清掃はもちろんのこと、地元青年団体を基盤としてSET・その他交流層等を巻き込み、ユニフォームとともに関係・交流人口の拡大を図る。アクションが事業として実行されることで、アイデア実現のモデルになり、地域づくりの原動力にもつながる。 ・研修を通じて、公私ともに繋がっていききたいと思える関係性が生まれた。活動や業務に対して前向きに取り組みたいという気持ち、関係性を活用しながら村の未来を明るくしていきたいという振り返りがあり、人材育成としても成功したと考えている。 ・研修職員は2人とも入庁後8年のキャリアの職員であり、東日本大震災後に入庁した職員が半数を占める野田村において、中堅的な立ち位置で職員、そして地域を動かす人間となることを期待する。 ・来年度も本事業を継続し、地域課題解決のアイデアづくりと実行できる人材を育成したい。
8	青の国魅力情報発信事業	普代村	4,884,000	3,256,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	本事業により、村内外への本村の産業、伝統・文化などの資源のPR、また、同時に村内のラジオ活用の推進も図ることができ、感想なども多くいただけた。また、車でラジオを聴いている人も多く、災害時に車で避難する際の情報収集手段としてラジオが定着してきていると感じる。 次年度以降も引き続き「青の国ふだい」の情報発信の強化に取り組むことが予定されている。

9	昆布ブラザーズ着ぐるみ製作事業	普代村	2,161,500	1,441,000	5 市町村事業	3 観光産業	1 ソフト	老朽化した既存着ぐるみの補修・洗浄及び新規着ぐるみの製作が完了したことから、次年度以降に向けた各種事業・イベントなどにおける円滑な活用が期待される。
10	相馬大作没後200年記念事業	二戸市	4,460,800	2,973,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	新型コロナの感染拡大の影響により、予定していた一部の事業を実施できなかったが、相馬大作の生涯や功績等を後世に伝えるための取り組みを行うことができた。
11	地域の誇りの醸成と宝の磨き上げによるまちづくり事業	二戸市	1,661,000	1,107,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	2 ハード	リニューアルにより、地域住民の宝への関心が高まり、誇りの醸成が図られた。 今後、来訪者への宝の紹介などを通じた交流促進を図る。
12	シビックセンターモニュメント修復事業	二戸市	7,869,532	3,129,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	2 ハード	多目的広場のモニュメント修復・データ化を行ったことで、故福田繁雄氏の作品を後世に残し、多くの方の来館が見込める科学館の実験装置の修繕を行ったことにより、市内住民や観光客の受け入れ態勢を整えることが出来た。
13	キングオブチキン感謝祭開催事業	九戸村	2,998,368	1,998,000	5 市町村事業	6 農林水産業	1 ソフト	参加店舗数が積極的に参加し、参加店舗が毎年伸びている。アンケート調査でもイベント継続を望む声が多いことから、事業者にも一定の効果があつたと考える。 また、普段は閑散としている伊保内商店街に、まさかね館を中心に人が歩いている姿があつた。理由は強大オブジェと景品交換所をまさかね館に設けたことである。来年度も伊保内中心地に足をはこぶ目玉をつくり誘客したい。
14	九戸村商店街賑わい事業	九戸村	1,047,200	698,000	5 市町村事業	4 地場産業	1 ソフト	コロナ禍であることから出店者が少ない結果となり、当初見込んだ規模の集客とはならなかった。次年度は、コロナの収束を見極めながら、商工会と協力し、定期的な開催と、出店者の確保に努めていく必要がある。
15	リサイクルステーション設置事業	九戸村	2,370,588	1,580,000	5 市町村事業	9 防災・危機管理	2 ハード	令和3年12月に運用開始して以来、住民から利便性向上に対して好評が得られていることから、利便性の向上が図られたと判断される。しかし、未だに資源となるごみの分別について理解できていない住民、ごみステーションとリサイクルステーションを混同し、資源ごみ以外のごみやコップ・陶器などの資源とならないごみを持ち込む住民など資源ごみに対する住民理解を得られていないことから、令和4年度以降はリサイクルステーションの設置目的や資源ごみの分別について、全戸配布等により分別意識の向上に努める。
16	プレミアム甘茶の商品開発及び甘茶製造機械購入事業	九戸村	2,700,900	1,800,000	5 市町村事業	6 農林水産業	2 ハード	設備の導入において、社会状況から機械製造に係る資材が確保できず、年度末の完了となったことで、今年度は十分な検証ができなかった。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、商品開発を断念したことや来客数の減少により目標とした販売額を下回る状況となった。 今年度生産体制の強化が図られたことから、次年度においては、甘茶の知名度向上及び販売促進を目的とした事業展開を実施していく。
17	一戸町観光看板整備事業	一戸町	302,500	201,000	5 市町村事業	3 観光産業	2 ハード	諸般の事情により一部看板の事業は中止となったものの、近年岩手県企業局が設置した風力発電を見学する方々が増えている高森高原の観光地案内看板を整備できたことにより、見学者や来訪者の満足度向上を図れたとともに、観光地としての環境を整えることができた。
18	一戸駅案内交流スペース整備事業	一戸町	4,531,214	3,020,000	5 市町村事業	3 観光産業	2 ハード	新型コロナウイルス感染拡大による影響は大きかったものの、各メディアに取り扱っていただき、反響は大きかった。 今後は新型コロナウイルス感染収束後を見据えたプランニングを行い、町内外の多くの方々が集い交流する場として、引き続き開催し魅力向上に努めていく。
19	世界遺産登録に係る御所野縄文博物館観光客受入事業	一戸町	2,713,800	1,809,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	2 ハード	展示室等の音響映像設備更新により来場者が快適に見学できる状態を整えることができた。今後はさらに、フェイスブックなどのSNSを活用し、プロジェクションマッピング等の映像展示の魅力なども積極的に発信し、御所野遺跡や御所野縄文博物館の認知度向上を図っていききたい。

20	御所野縄文博物館ミュージアムショップリニューアル事業	一戸町	3,542,000	2,361,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	御所野縄文博物館ミュージアムショップリニューアル事業を通して、世界遺産の御所野遺跡や縄文文化の新たな魅力を創出するだけでなく、縄文時代から一戸町に続く伝統技術を見直すなど、世界遺産と町全体の魅力について、関係者で議論を深めるなど、意義深い事業となった。 今後も縄文文化や御所野遺跡と一戸町や県北地域の伝統技術に係る商品開発に、学術的な考察を加えるなど、新たな魅力や価値を創出できるような事業を目指していきたい。
21	御所野遺跡世界遺産登録記念魅力発信事業	一戸町	1,797,500	1,198,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	御所野遺跡世界遺産登録記念式典・祝賀会で出席者の記念品として、参加者にこれまでの世界遺産登録に伴うご尽力に謝意を表すとともに、改めて御所野遺跡の魅力や価値を伝えることができた。 写真集については、新たな試みということもあり、マスコミ等にも取り上げられ、一層のPR効果を挙げることに寄与できた。今後も御所野遺跡の特長である優れた景観や多角的な調査研究、そして何よりも地域一体となって整備や運営を行っていることを強みにしながら、今後も取組みを進めていく。
22	恐竜によるまちづくり推進事業	久慈市	1,300,646	867,000	5 市町村事業	3 観光産業	1 ソフト	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった事業もあったが、確実に「太古ロマンのまち」としての機運の高まってきている。今後、当該地域資源を活用した産業振興等への波及効果を目指し、引き続き事業を実施していくことで更なる効果が期待できる。
23	震災伝承アーカイブ事業	野田村	2,674,299	1,782,000	5 市町村事業	9 防災・危機管理	2 ハード	< 震災伝承施設 > ・今回の事業において、震災伝承施設に足を運ぶ、回る、理解を深めるための基盤づくりとすることができた。来訪者の増加への取組を推進するとともに、上記成果でも触れた震災学習モデルコースづくりへの活用につなげたい。 ・本村の震災伝承施設の中には「野田村復興展示室(震災伝承施設第3分類)」のほか、「旧下安家地区応急仮設住宅」という特徴的な施設がある。仮設住宅の保存・展示という全国的にも数少ない、貴重な施設の魅力化向上(生活再現展示、ガイド等)することで、他の地域との差別化も図りたい。 ・震災から11年が経過し、特に初めての来訪者には、被災状況は目で見てほとんど分からない。他の被災地とも連携を図りながら、視覚的、聴覚的、精神的なガイドを研究し、来訪者とのギャップを減らすことも必要と思われる。また、本村で学ぶテーマ(避難、災害復旧、生活再建、復興etc.)も考える必要があるだろう。それら課題と向き合いながら、ウェブサイト・マップの活用や更なる向上(適時更新)にも取り組んでいきたい。 < 被災写真 > ・被災写真活動は、応急仮設住宅の集会所やお祭りのストリートなど、人が寄り合う場所で写真返却お茶会という形で続いていた。しかし、生活再建とともにコミュニティの拠点も変化していること、新型コロナウイルス感染症の影響により大規模イベントが中止されていることから、街なかの震災伝承拠点である「野田村復興展示室」に移転したところである。昨年の野外上映会の翌日に開催した写真返却お茶会では1日に約1,000枚の写真が返却されるなど、映画「浅田家！」のその後がリアルに続いているシーンは大きな財産であり、写真保管・展示環境が整備できたことは今後の活動においても大きな意義がある。 ・被災写真等のデジタルアーカイブ事業については、写真をコンテンツとした新たな取り組みとして注目を集めている。震災10年をメドに、特にモノを保存する、返却する性質の震災伝承活動が少なくなる中、これまでの写真活動の継続だけでなく、発展形となっていることが本村における最大の特徴とも言える。プリント写真を基本としながらも、デジタル化することで写真の劣化対策、検索性の向上、スキャン作業と写真整理に集う人たち、それら写真でつながる展開全てが「野田村モデル」となり、村の、写真活動チームの知的財産のようなものにもなると考えている。 ・来年度は年間10回程度(月1回程度のペース)で複写作業を開催する計画であり、デジタル写真の数量を着実に増加させるとともに、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、可能な限り村民等に参加いただくよう告知展開していきたい。



地域経営推進費 事業評価結果一覧表(令和3年度)

24	地域の魅力を伝える「いわてカシオペアブランド」発信・交流事業	二戸市	511,934	341,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	カシオペアブランド協議会として、第2次の事業取り組みの初年度となったことから、事業計画や成果指標の策定についても試験的な実施になったと感じている。今年度の成果と課題を踏まえ、次年度についてはカシオペア地域の魅力を発信、そして魅力を波及させていくための人材育成という事業目的の達成に向け取り組みを展開していきたいと考えている。
25	地域の魅力を伝える「いわてカシオペアブランド」発信・交流事業	軽米町	172,365	114,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	カシオペアブランド協議会として、第2次の事業取り組みの初年度となったことから、事業計画や成果指標の策定についても試験的な実施になったと感じている。今年度の成果と課題を踏まえ、次年度についてはカシオペア地域の魅力を発信、そして魅力を波及させていくための人材育成という事業目的の達成に向け取り組みを展開していきたいと考えている。
26	地域の魅力を伝える「いわてカシオペアブランド」発信・交流事業	九戸村	108,373	72,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	カシオペアブランド協議会として、第2次の事業取り組みの初年度となったことから、事業計画や成果指標の策定についても試験的な実施になったと感じている。今年度の成果と課題を踏まえ、次年度についてはカシオペア地域の魅力を発信、そして魅力を波及させていくための人材育成という事業目的の達成に向け取り組みを展開していきたいと考えている。
27	地域の魅力を伝える「いわてカシオペアブランド」発信・交流事業	一戸町	239,453	159,000	5 市町村事業	12 NPO・コミュニティ	1 ソフト	カシオペアブランド協議会として、第2次の事業取り組みの初年度となったことから、事業計画や成果指標の策定についても試験的な実施になったと感じている。今年度の成果と課題を踏まえ、次年度についてはカシオペア地域の魅力を発信、そして魅力を波及させていくための人材育成という事業目的の達成に向け取り組みを展開していきたいと考えている。
28	「縄文×漆」IGRラッピング列車運行事業	二戸市	2,995,795	1,997,000	5 市町村事業	3 観光産業	1 ソフト	メディアに大きく取り上げられ反響は大きかった。今後、沿線のみならず、運行ルート of JR線エリア(北上)や隣県の青い森鉄道(八戸)方面へラッピング電車により岩手県北の「漆掻き文化」「縄文遺跡」がより浸透し、列車利用等で県北部への来訪者の増加が期待される。
29	「縄文×漆」IGRラッピング列車運行事業	一戸町	2,995,795	1,997,000	5 市町村事業	3 観光産業	1 ソフト	メディアに大きく取り上げられ反響は大きかった。今後、沿線のみならず、運行ルート of JR線エリア(北上)や隣県の青い森鉄道(八戸)方面へラッピング電車により岩手県北の「漆掻き文化」「縄文遺跡」がより浸透し、列車利用等で県北部への来訪者の増加が期待される。
30	東京2020オリンピック聖火リレー関連事業	久慈市	1,284,680	856,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	聖火リレーは久慈市側の当日係員だけで120名を超える大型イベントであり、また、コロナ禍にあっては制限が多く、事業の実施は大変に厳しいものがあった。一方で、市内ボランティアの参加や、市内の学生(長内中学校・久慈東高校)や山車組の出演、二十山親方のPRランナー招致など、住民の協力を得ながら事業を進めることで、より地域に根差した事業になったと感じる。来場者数もまずまずであり、沿道や会場にもこやかな雰囲気の中、大きなトラブルや事故も起こらなかったことから、イベントとして概ね成功したものと考えられる。
31	東京2020オリンピック・パラリンピック機運醸成事業	洋野町	1,198,876	713,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	聖火リレー及びパラリンピック採火式実施にあたり、懸垂幕や横断幕、のぼり旗の設置などで事前周知し、多くの町民に関心を持って参加してもらうことができた。また、東京オリンピックパラリンピック競技大会への機運を高めることができた。
32	野田村文化スポーツプロジェクト事業(聖火リレー事業分)	野田村	1,421,617	947,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	新型コロナウイルスによるイベントの自粛など閉塞的な空気のなか、聖火リレー及び聖火フェスティバルの開催は、村に明るい話題を呼び込んだものと感じる。村内外の各種メディアで取り上げられたことから、復興状況の発信にも十分な効果があったと思われる。

様式1

地域経営推進費 事業評価結果一覧表(令和3年度)

33	東京2020オリンピック・パラリンピック機運醸成事業	普代村	548,000	365,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	様々な方々からの協力をいただき、無事事業を終えることができた。反省点として、聖火リレーにおいて手旗の数を400事前準備で用意していたが足りなくなった。しかし、開催することによって確実に東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成に貢献することができ、当村の良さをアピールする機会にも繋がった。類似したイベントの機会は多くないと思うが、大きなイベントの際には今回の経験を活かしていきたい。
34	東京オリンピック・パラリンピック関連事業	二戸市	817,686	545,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	新型コロナにより計画の変更を余儀なくされたが、万全な対策を行った上で、機運醸成並びに、オリンピック聖火リレー及びパラリンピック聖火フェスティバル関連事業を遂行したほか、市内小中学生への十分な働きかけを行い、反響を得られたと評価する。
35	東京オリンピック聖火リレーにおける都市装飾事業	一戸町	1,354,628	903,000	5 市町村事業	15 その他圏域の課題解決	1 ソフト	のぼり旗や横断幕をリレー走行ルート沿いに設置することにより、その周辺の雰囲気をもっとよく目立たせる都市装飾を達成することができ、ひいては町内全体の機運の醸成に寄与することができた。またボランティアスタッフが同じポロシャツとキャップを着用することで、スタッフ全体の士気を高めることができた。同時にスタッフの統一性を持たせることで、沿道観客からのスタッフ視認性の確保を達成できた。
合 計			110,899,919	57,843,000				